



今年も豊作を祈って

10周年を迎えました！

皆さま、サトラボ通信創刊号はお楽しみいただけましたでしょうか。ご無沙汰しております里山開拓団会長の片岡です。

創刊号では、われわれ「あいちサトラボ里山開拓団」の歴史と活動についてお知らせしましたが、今回は、昨年実施した開拓団発足10周年記念事業についての振り返りと新たな活動につなげる想いをお伝えしたいと思います。

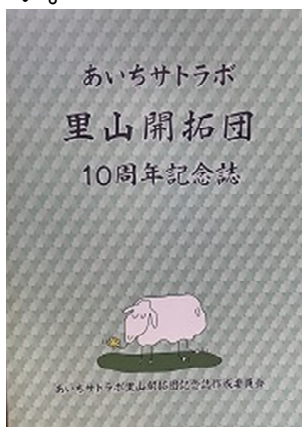
まずは10周年記念誌の発刊について、コロナ感染症がまん延する中で資料集めや打合せをする機会が厳しい状況で関係団体、各部署、団員など多くの協力を得ながら、1年がかりで編さんしました。150頁近くの大作になり、「サトラボ通信」では伝えきれない歴史や参考となる記事が満載されたものとして出来上がりました。「あいちサトラボ」「里山開拓団」について、より詳しいことをご知りになりたい方は是非ラボハウスにお越しただいてご覧ください。

次は記念植樹について、「あいちサトラボ」エリアには青少年公園時代からの植生があり、四季折々の景色を楽しんでいただける環境素材があります。

しかし、草花にみられるあでやかな花を楽しむ木々がほとんどありません。

来園者の皆さまに楽しんでいただける、また、われわれ団員も活動しながら安らげる、そんな木を未来に向かって育てていきたい。公園と共に開拓団も成長していきたいとの想いで、“さくら”の木を選定しました。

春の季節だけでなく、秋から冬にも楽しんでいただけるので、皆さまモリコロパークにお越しの際には、ぜひ「あいちサトラボ」にもお立ち寄りください。





各グループの活動（2021年10月～2022年5月）

田んぼグループ

田植えに向けて、雪舞う12月から桜咲く4月にかけて田んぼの土を起こし、肥料と混ぜて栄養がたっぷり入った田んぼをつくりまします。土起こしは、稲刈り後の固くなった田んぼの土を、耕運機で砕き細かくして乾燥と空気に触れさせることにより、養分を活性化させまします。肥料はもみ殻くん炭を使いますが、これもサトラボでは手作りまします。

もみ殻とは、精米のときにとれる米の外側についた皮のことです。これをいぶして炭化させたものが、くん炭となり、その他に堆肥と稲わらも使います。

これらの肥料を田んぼに均等に散布まします。また田んぼを囲む畦の水漏れがないかの、修復作業も田植えまでに終える大変重要な作業です。



くん炭づくり

畑グループ

サトラボでは冬支度として、収穫した野菜を使って、色々な漬物を作っていますが、代表的な漬物と言えば、やはり「たくあん（沢庵）」と「タカナ（高菜）漬」です。どちらも美味しく、

懐かしい味がまします。冬の寒い時期ですから、収穫した野菜を洗う水が冷たくて！みんなで出来上がった美味しい漬物の味を想像して頑張っています。里山たいけん隊や里のエコクラブのお弁当として提供していますので、皆さんも一度ぜひご賞味ください。



高菜を漬け込んでいきます

森グループ

森グループの下期の活動は、里山たいけん隊の稲刈り、脱穀、落葉掻き等をサポートましました。椎茸栽培に使う水は、エコの観点から雨水をタンクに集めて利用しています。本年はタンクを2基追加して3基にましました。そのおかげか、椎茸は豊作で沢山採取することができました。

里山たいけん隊の皆様には菌打ち体験をして貰う予定でしたがコロナ蔓延防止が発出され、変更して団員のみで原木に1000個の駒菌を打ちましました。

原木を運ぶための木ソリも作りましました。例年実施している門松飾りをラボハウス前に設置ましました。森の中で乾燥させた木を裁断し竈門の薪として利用する作業を実施中です。



木ソリ

果樹グループ

秋冬は落葉果樹の剪定・施肥・病害虫対策の大切な時期になります。

1月に加藤アドバイザーからブドウの長梢剪定を教わり、今まで短梢剪定を行ってましましたので大変勉強になりました。またブドウの粗皮内で越冬する病害虫を駆除する為の粗皮削りを今年は念入りに行いました。

その他の果樹の剪定は、畑・花グループの皆に協力してもらって、無事終了ましました。育ちの悪かった地植えのブルーベリーは鉢に移植し元気に育っています。



ブルーベリーを鉢に植え替え

花壇グループ

冬はすこし寂しかった花壇も、春が近づくにつれて徐々に華やいできます。



春を迎えるスイセンの花



春はやっぱりチューリップ

イベントグループ

サトラボの後期のプログラムでは、花餅や鏡餅・しめ縄を実際に参加者に作ってもらいました。

お正月飾りにはそれぞれ意味があり、昔から新年を迎える事は特別で、大切にされてきたのだと、体感してただけましました。

お正月準備です
花餅・鏡餅づくり





特集：あいちサトラボ10周年 10周年記念式祭を実施しました

コロナ禍の中、記念式祭を実施するまで

2021年4月、当あいちサトラボ里山開拓団は「発足10周年」を迎えるにあたり、2020年10月上旬に記念誌作成委員会を立ち上げ、記念誌の作成を行いました。（記念誌についてはP1をご覧ください）

記念誌に合わせて記念式祭も検討することになりました。ただ、2021年が明けてもコロナ禍は収まらず、第2回目の緊急事態宣言が発令されているさ中の検討で、団員も悩みました。

団員への記念式祭の開催の是非を問うたアンケートの結果では、10周年の節目として実施したいとの意見が多くありましたが、コロナ禍の中で高齢者が

多い団員が集まるのは避けるべきとの声もありました。

そこで、開催時期としては、新型コロナが収束している事を期待して11月の収穫祭と一緒に実施することを企画しました。

また記念式祭の内容は式典など多くの人が集まるものではなく、多くの人が将来にわたり、見て感じて触れ合うことが出来るものになりたいと検討した中から、開拓団のシンボルとなる記念樹の植樹が最適なのではないかと決定しました。

記念式祭の準備を経て、いよいよ当日

記念式祭に向けた最終の月例会では、アドバイザーより10種類程の樹木の候補を上げて頂き、サトラボらしい樹種ということで、葉や花を食べられる里桜、寒いさなかにも花がみられる四季桜の2種類に決定しました。

植える場所もいくつかの候補の中から、団員の話し合いにより、ラボハウスの大きな窓から正面に見える南側の斜面と決まりました。

また記念セレモニーやその準備担当者などを、皆で役割分担も決定しました。植樹は思い出に残る機会にしたいと団員で穴掘りに参加し準備をしました。

11月20日（土）の記念植樹式当日は晴天にも恵まれ、来賓として愛知県公園緑地課長、尾張建設事務所所長、公園管理事務所所長、愛知県立芸術大学教授（当団相談役）にご出席頂きました。

大きくなれよ、大きくなってくださいねと声かけし、無事に式を終えることができました。

植樹式の準備に携われた関係者の皆様お疲れさまでした。皆様の奮闘に感謝申し上げます。

植樹した里桜、四季桜の成長とともに、あいちサトラボ里山開拓団のさらなる成長を目指して、活動していきたいと思えます。



当日に向けて植樹の準備をします



参加者で記念撮影



サトラボメモ

「あいちサトラボ」は、冬から春にかけて4ヶ月間の短いプログラムがあります。「里のエコクラブ」という年少幼児から小学生を含むファミリーが対象となります。里山では昔から年越し行事として、餅つきやしめ縄づくり、明けて節分、ひな祭りなど、行ってきました。里山の季節を体感し、日本の文化や伝統を学ぶこととなります。10月頃に募集いたしますので、ご期待ください。

また、単発イベントとして、10月8日（土）に「稲刈り体験」がありますので、こちらも是非ご応募ください。お待ちしております。



私のおすすめ

試食会のメニュー紹介

2021年秋～22年早春編

秋のお彼岸にはおはぎを、大きなすり鉢一杯のとろろ汁はみんなアツという間に完食です。

まだ寒さの残る3月には、ヨモギの新芽を摘んで草餅作り、あんこは田んぼの畔でとれた小豆を煮て大福に、秋に仕込んだ沢庵漬や菊芋の味噌漬けを箸休めにして、月に一度の試食会です。

コロナ禍でも季節は確実に巡り、サトラボは明るい春色に染まっています。旬の食材に心が躍り、私たち調理担当者もはやる思いで畑を見渡し、春のメニューを考えます。

季節の節目ふしめに、昔からの習慣をできるだけ忠実に再現して、先人の英知を再発見する機会になればと思っています。子供たちが大人になって、サトラボでの食味を懐かしく思い出す機会があれば、調理担当者としてはこの上ない喜びです。思い出してくれるかな？来月は、何を作ろうかな、気持ちはもう一か月先に飛んでいます。



とろろ汁



秋のおはぎ

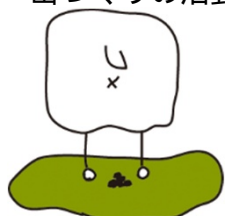
今後の行事予定

今後のサトラボの行事予定をお知らせします。

月	内 容		
8 月	6日(土) 里山たいけん隊	20日(土) サツマイモエコクラブ	27日(土) 月例会
9 月	17日(土) サツマイモエコクラブ		24日(土) 月例会
10 月	1日(土) 里山たいけん隊	8日(土) 公募 稲刈り体験	
10 月	15日(土) サツマイモエコクラブ	22日(土) 里山たいけん隊	29日(土) 月例会
11 月	12日(土) 収穫祭		26日(土) 月例会
12 月	3日(土) 里山たいけん隊	17日(土) 里のエコクラブ	24日(土) 月例会

お知らせ

「あいちサトラボ里山開拓団」の団員を募集しています。開拓団は、あいちサトラボエリア内で、団員相互に協力しながら里山づくりの活動をしています。毎週土曜日が共同作業日で、多くの団員が活動しておりますので、是非見に来てください。お待ちしております。



編集後記

サトラボ通信2号です！今号は冬から春のサトラボの様子と、開拓団の重要な節目である10周年の話題です。楽しんでいただけると幸いです



開拓団のブログです
こちらもよろしく

発行所 あいちサトラボ里山開拓団
 発行人 片岡 巖雄
 住所 愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
 愛・地球博記念公園管理事務所 里山開拓団事務局
 TEL 0561-64-1130